

登録日 2010/3/31

登録番号 Cer006

腫瘍名 子宮頸がん

申請診療科 産婦人科

投与スケジュール

PTX+CDDP+RT				7日毎 × 5~7コース	
				1コース	2コース
				1 2 3	8 ... (day)
①	ソルアセトF 硫酸マグネシウム	500 mL 20 mEq	点滴 60分	↓	↓
②	デキサート パロノセトロン ポララミン ファモチジン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 5 mg 20 mg 50 mL	点滴 15分	↓	↓
③	パクリタキセル 5%ブドウ糖	50 mg/m <sup>2</sup> 250 mL	点滴 60分	↓	
④	シスプラチン 生理食塩水	30 mg/m <sup>2</sup> 500 mL	点滴 120分	↓	↓
④	ラシックス <b>(④のシスプラチンの投与直前に投与)</b>	10 mg	静注	↓	
⑤	ソルアセトD (Day2は120分で投与)	500 mL	点滴 60分	↓ ↓ ↓	↓
⑥	ソルデム3A (Day2は120分で投与)	500 mL	点滴 60分	↓ ↓ ↓	↓
⑦	ヘパフラッシュ	5 mL	点滴 3分	↓ ↓	↓
	Radiation	Gy/日		■	■

注意事項

<開始適応基準>

年齢20~70才、化学療法の既往なし、Stage I b2以上、PS:0~1、Neutro:1500以上、Plt>15万、Hb>9.0、T-Bil<1.5、AST/ALT<100、Cr<1.2、Ccr≥50

<化学療法適応基準>

(投与前日に) PS:0~1、Neutro:500~1000以上、Plt≥5万、Hb≥8.0、T-Bil<1.5、AST/ALT<100、Ccr≤1.2、体温<38.0℃、下痢≤Grade1、非血液毒性≤Grade2

**Grade4の好中球減少、血小板減少が発現した際には化学療法中止**

Grade3の副作用が発現した際には、上記を満たした時点でPTXを40mg/m<sup>2</sup>で投与する。その後、再度上記を満たさない場合は化学療法中止

<放射線治療継続基準>

Neutro>500 残りの項目は化学療法と同様

参考文献

Radiation therapy with concomitant paclitaxel and cisplatin chemotherapy in cervical carcinoma limited to the pelvis: A phase I / II study of the Gynecologic Oncology Group Gynecologic Oncology 103(2006)1038-1042